

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	① マーケティングに基づくプロモーションの展開
			施策の小項目名	○マーケティング調査、情報分析力の強化
主な取組	沖縄MICE開催実態調査事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
県内におけるMICE開催の実態を把握するため、主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象に開催状況調査を実施する。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		実態調査の実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R2年度			令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
戦略的MICE誘致促進事業							当初予算額	主な財源			
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額					
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	2,974	3,991	5,000	5,000	一括交付金(ソフト)	OR元年度：平成31年度に調査した県内MICE関連施設や企業・団体520団体に対して調査を行い、386団体から回答を受けた。 OR2年度：令和元年度に調査した団体に加えて新設されたホテルや会議施設があれば対象に追加して調査を行う。		
予算事業名							R2年度			令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：		
									OR2年度：		

様式1(主な取組)

活動指標名	実態調査の実施				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	—	100.0%	5,000	順調	「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
・産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用して、県が実施する調査事業への理解を深めるとともに、事業者が回答しやすい調査手法の検討を行う。						・回答率を高めるため、多くの催事が開催されていると思われる施設等を実査に回り、当調査の意義を理解してもらうことにより、回答数を高めることに成功した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ MICEのうち、特にM, I, Eについては、実態の把握が難しく、本県のように定期的に調査を実施している地域は他にない。

○外部環境の変化

・ 本調査は、ホテルや会議施設、旅行社等からの回答をとりまとめているが、回答者から顧客情報管理上回答が難しい、件数が多く調査票への入力業務負担が大きい、参加国数や参加者の内訳等を把握しておらず回答が難しい、といった声がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 今後MICE開催件数は増えていくことが予想されることから、調査手法の簡素化などにより事業者負担を極力減らす必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、事業者負担を減らす方向での検討を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収集				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	—	—	実施	実施	実施	—	100.0%	30,688	順調	国内・海外主要都市において商談会・セミナー等を主催または出展し、プロモーション及び各市場の主催者ニーズの把握を行った。	
活動指標名					R元年度						
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	国内・海外主要都市において商談会・セミナー等を主催または出展し、収集した情報を、次年度のプロモーション計画の検討や支援メニューの見直しに生かしており、効果的なMICE振興に繋がっている。
活動指標名					R元年度						
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和元年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> 海外においては、県及びOCVB海外事務所の誘致活動体制の強化を行い、最新の市場動向の把握及び効果的な誘致活動につなげる。特に欧米については、東京都やOCVB海外プロモーション担当部署との連携を検討する。 県外においては、県外（東京・大阪）事務所におけるMICE主催者への個別訪問を強化し、より正確な主催者ニーズの把握を行い、支援メニュー等に反映させることで他都市との差別化を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> 海外事務所の誘致強化活動のため、海外事務所誘致活動強化事業の予算を増額した。また、平成31年度から沖縄県ソウル事務所が開設したことから、他の海外事務所と情報共有をしつつ本格的なMICEプロモーション、誘致活動を開始した。 東京都都市間連携については、平成31年度は東アジア諸国が対象地域となったことから、海外事務所を中心にプロモーションを行なった。特に深センについてはあらたな市場開拓につながった。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

R2年度の予算削減により、縮小して実施せざるを得ない。

○外部環境の変化

COVID-19の影響で、商談会・見本市の開催に加え、セミナー開催の目処が立たない状況である。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

当面は、webからの情報収集や、これまで蓄積された商談データをもとに、COVID-19の影響が治った段階で、効果的なプロモーションがうてるよう準備を進めていく必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

Webを中心に情報収集を行うとともに、これまで蓄積した商談データ等をOCVB東京事務所や県外事務所、海外事務所と共有し、COVID-19の影響が治った段階で効果的なプロモーションがうてるように準備を進めていく。

様式1(主な取組)

活動指標名	継続的なブランドプロモーションの展開				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	実施	実施	—	100.0%	20,646	順調	活動概要 沖縄MICEのブランドイメージを各種イベントやメディア等を活用して発信した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 国内外のメディアを活用して広報活動を実施しており、MICE開催地としての沖縄の認知度向上に向けて順調に取組を進めている。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和元年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ブランド発信者の育成のため、県内MICE事業者向けに沖縄MICEブランドの普及啓発を継続するとともに、県外、海外においてブランド広報を行い、ブランドイメージの浸透に努める。 						<ul style="list-style-type: none"> 国内外MICE専門誌を中心に動画のプロモーションを行い、ブランドイメージの浸透に努めた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ブランドを定着させるには、沖縄県、OCVB、県内MICEの中核機関である産学官の連携組織である沖縄MICEネットワーク、県内MICE産業企業等MICEに携わる全ての関係者がブランドを理解し、発信し続ける必要があるが、ブランド発信者となる県内事業者向けの普及がまだまだ足りない。

○外部環境の変化

・沖縄MICEの活性化にあたっては、大型MICE施設の設置の話がすすめば、業界全体のモチベーションアップにつながる事が期待できる。次年度からは大型MICE設置にむけた動きが加速することが期待できることから、ブランド普及にも期待がかかる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・MICEネットワークをとおして、さらなるブランド普及が必要。

4 取組の改善案 (Action)

・沖縄MICEネットワークを活用し、さらなるブランド普及を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	実施	実施	実施	100.0%	59,536	順調	企業ミーティング及びインセンティブ旅行を専門に取り扱う商談会2件に出展し、80件の商談を行ったほか、国内4都市129社、海外6都市193社に対してMICEセミナーを実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 企業ミーティング及びインセンティブ旅行を専門に取り扱う商談会2件に出展、国内4都市1、海外6都市でMICEセミナーを実施しており「順調」である。
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・海外事務所、県外事務所による市場動向調査を踏まえたプロモーションを展開する。 ・直行便を運行している航空会社やグローバル展開のホテルと連携したプロモーションを展開する。 ・欧米等その他海外向けには、他都市や一般観光と連携した招聘事業を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・海外については、海外事務所が所管する国々を中心に影響活動を実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 海外事務所によるMICE誘致活動を、平成30年度から強化している。

○外部環境の変化

- ・ 平成31年度には、日韓関係の悪化などにより、韓国からのインセンティブが減った。
- ・ 年明けのCOVID-19の影響により、2月以降のMICEについてはほぼ延期・キャンセルとなっている。年度明けもこの状況は続きそうである。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ COVID-19の影響が収束した際のV字回復をねらうには、事前の準備を怠らないことが必要である。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ COVID-19の収束のタイミングに合わせてすぐに動けるよう、準備を整えつつ、受入環境を充実させていく。
- ・ 10月末に開催されるツーリズムEXPOジャパン2020 リゾート展 in 沖縄を成功させ、COVID-19からのV字回復を目指す。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	実施	100.0%	27,679	順調	<p>県内大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー（県内視察）を実施したほか、コンベンションを専門に取り扱う商談会1件へ出展し、約30件の商談を行った。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>県内大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー（県内視察）を実施したほか、コンベンションを専門に取り扱う商談会へ出展、商談会を実施するなど、国内学会や国際会議の誘致に向けて順調に取り組みを進めた。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員数の多い琉球大学や沖縄科学技術大学院大学を中心に、継続的にMICEセミナーを開催する。 ・ 教員数の多い大学へのMICE支援窓口の設置を検討する。 								<ul style="list-style-type: none"> ・ 琉球大学及びOISTを訪問し、コンベンション支援事業の紹介や、両大学の研究員等が運営に関わっている学会等の情報収集を行った。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・学会主催者へのアプローチ手法に関するノウハウが未だ充分ではない。

○外部環境の変化

- ・地方都市でのMICE施設の建設が相次いでおり、国内外問わず都市間の誘致競争が年々激しさを増している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・OCVBの学会等へのアプローチ手法について、引き続きブラッシュアップする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・これまでアプローチした学会等の情報についてのデータベースを再整理し、OCVB東京事務所や海外事務所とも共有し、コンベンション誘致につなげていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。		設計・工事・開業準備に向けた取組		新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定		
		実施主体		県、事業者		
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課		【098-866-2077】			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 大型MICE受入環境整備事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査（事業スキーム等）を実施した。 OR2年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。
県単等	委託	41,551	7,040,437	68,982	15,800	23,287	44,486	県単等	

予算事業名 観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査（差別化戦略、エリアマネジメント等）を実施した。 OR2年度：
県単等	委託	—	—	—	—	5,765	—		

様式1(主な取組)

活動指標名	設計・工事・開業準備に向けた取組				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	29,052	順調	活動概要 マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP 導入可能性調査を実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP 導入可能性調査を完了した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 整備財源の確保策を含む新たな事業計画の策定に向けた調査検討を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 整備財源の確保策を含む新たな事業計画の策定に向けた調査検討を実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ マリントウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査業務が終了したことにより、基本計画検討業務のフェーズへ移行する必要がある。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症対策の影響 (投資環境への影響等) を見極める必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。						
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 大型MICE受入環境整備事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査（事業スキーム等）を実施した。	
県単等	委託	41,551	7,040,437	68,982	15,800	23,287	44,486	県単等	OR2年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。	
予算事業名 観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査（差別化戦略、エリアマネジメント等）を実施した。	
県単等	委託	—	—	—	6,199	5,765	—		OR2年度：—	

様式1(主な取組)

活動指標名	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	—	100.0%	29,052	順調	マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査を実施するとともに、大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において協議を行い、事業の進捗や今後の諸課題について情報共有を図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ マリントウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査業務が終了したことにより、基本計画検討業務のフェーズへ移行する必要がある。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症対策の影響 (投資環境への影響等) を見極める必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	県内外の投資会社への誘致活動、税制等の活用促進				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	7,649	順調	ワンストップ窓口にて、事業説明会や個別企業訪問を行ったほか、県MICE推進課では、レジャー&サービス産業展2019にブース出展をし、パンフレットを約200部配布するとともに65社と直接商談を行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										平成29年度から産業振興公社にワンストップ相談窓口を設置し、この結果、窓口に対して平成29年度：43件、平成30年度：30件の相談があり、活用実績についても、それぞれ10件、14件と順調に増加している。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携や個別企業等への周知活動強化を図りつつ、市町村と連携し誘致可能な用地を把握することで、観光関連施設の誘致や税制活用を具体化していく。 併せて、民間団体が主催する観光・レジャー関連の展示会への出展や、大型MICEの投資誘致セミナーなどをおして投資誘致を募っていく。 						<ul style="list-style-type: none"> 「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携や個別企業等への周知活動を図った結果、活用実績が順調に伸びている。また、市町村を直接訪問し、開発計画のヒアリング等情報収集活動も行った。 レジャー&サービス産業展2019にブース出展をし、来場した企業と直接商談を行ったが、大型MICEの投資誘致セミナーについては行わなかった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・観光関連事業者等への十分な制度周知を図るため、パンフレット配布や対象事業者の掘り起こしなどを継続的に行う必要がある。
- ・市町村と連携し、県土全体における観光地形成を目指すため、市町村との意見交換を積極的に行う必要がある。

○外部環境の変化

- ・沖縄観光が堅調に推移していることなどを見込んだ民間宿泊施設投資の動きが活発である。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・那覇空港第2滑走路やクルーズ船のバース等のインフラ整備による受入機能増強と並行し、好調な県の観光産業を背景に、「観光地形成促進地域制度」を活用した県外からのさらなる投資誘致を促進することが必要である。

4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携や個別企業等への周知活動強化を図りつつ、市町村と連携し誘致可能な用地を把握することで、観光関連施設の誘致や税制活用を具体化していく。
- ・また、大型MICEのほかにも、うるま市や沖縄市で同様の大型開発プロジェクトが進んでいるため、情報を整理して適切に開発事業者のニーズに応じた情報提供をしていく必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	沖縄コンベンションセンター管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国際・国内コミュニケーションの場としてのコンベンションを誘致・推進し、本県の産業経済及び教育文化の振興に寄与するため、沖縄コンベンションセンターの管理・運営を行う。						
		MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)	
予算事業名 沖縄コンベンションセンター管理運営事業							令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	R2年度	
							当初予算額	主な財源
県単等	委託	67,946	65,691	65,691	65,691	66,300	0	OR元年度：国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理運営を行った。 OR2年度：指定管理料が0円となったが、引き続き沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和元年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。 平成30年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、修繕計画に基づき、会議棟Aの空調設備の更新及びワイヤレス音響設備の更新を行った。 指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を積極的に進めることができた。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の築年数が30年を経過し、施設の老朽化が激しくなっている状況にあり、急な破損により建物使用不可になることは、MICE誘致等の活動にも影響がでてくる恐れがある。 MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。 	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> MICE施設という特性上、多数の人が集まる催事については、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生してきており、現在は積極的な誘致活動が行えない状況である。
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。 国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。 新型コロナウイルスによる影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。 	

様式1(主な取組)



4 取組の改善案 (Action)

- ・令和元年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・令和元年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期（3年～5年）のMICE計画があるイベント等を誘致していく。
- ・新型コロナウイルスによる影響を注視し、必要な対策を講じていく必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	万国津梁館管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。						
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 万国津梁館管理運営事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理・運営を行った。 OR2年度：万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。	
							29,916	県単等		
県単等	委託	65,633	65,633	65,633	65,633	66,241				

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和元年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。 平成30年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、修繕計画に基づき、中央監視装置の修繕や、地盤調査及び実施設計を行った。 指定管理者において、引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を積極的に進めることができた。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築から19年が経過し、施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、MICE等の誘致活動に支障が出る可能性がある。 MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。 	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 国外、県外の利用者が多い万国津梁館では、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生してきており、現在は積極的な誘致活動が行えない状況である。
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるために、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。 国際会議や大型MICEは、企画段階から実施まで、2～3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連携が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで一括して対応できる体制を整えることが重要である。 新型コロナウイルスによる影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。 	

様式1(主な取組)



4 取組の改善案 (Action)

- ・令和元年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・令和元年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期（3年～5年）のMICE計画があるイベント等を誘致していく。
- ・新型コロナウイルスによる影響を注視し、必要な対策を講じていく必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	MICE施設の機能強化に向けた交通体系の確立			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
大型MICE施設の整備にあたり、施設利用者の交通利便性確保に向けて情報共有を行なうなど、関係部局及び地元自治体と連携して取り組む。						
実施主体	県、市町村、国、交通事業者					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備、利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
—		—	—	—	—	—	—		OR元年度： 関係者間での情報共有を図るため、「大型MICEエリア振興に関する協議会」を1回開催した。 OR2年度： 「大型MICEエリア振興に関する協議会」を開催する。
予算事業名									
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
									OR元年度： OR2年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備、利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	0	順調	「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—				関係部局と調整のうえ、大型MICE施設への移動利便性向上に資する、道路整備事業の進捗状況の確認や利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた課題整理等が行なわれた。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の機能強化に向けて、関係機関と地元自治体等地域と一体となり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保する必要がある。

○外部環境の変化

・MICEの開催ニーズは年々多種多様化してきており、今後も変化を続けていくものと見込まれるが、催事主催者や参加者の視点から、MICE施設への移動利便性向上については、今後も変わらず求められる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、利用者の移動利便性向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善について取り組む必要があり、引き続き、大型MICEエリア形成にかかる協働体制の中で協議を重ねていく。

4 取組の改善案 (Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	沖縄MICEネットワークの運営・組織強化			
対応する主な課題	<p>①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。</p> <p>②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。</p> <p>③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
全県的かつ産業横断的なMICE振興を図る観点から、大学、産業界、行政、各種団体が参画する沖縄MICEネットワークを設立し、部会、勉強会等を通して、県内事業者のスキルアップを図る。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課	【098-866-2077】				
		部会、勉強会の開催、普及イベントの開催、主催者・誘致主体等への総合的支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	-	-	17,320	8,731	6,865	6,544	一括交付金(ソフト)	OR元年度：MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る検討会等を開催した。 OR2年度：MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催する。

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄MICEネットワーク会員数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	150	244	275	—	100.0%	6,865	順調	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会、受入部会、誘致部会を開催した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員による事業提案や会員ニーズを反映させる部会活動を充実させる。 ・ 前年度の受入検討会で抽出された課題の解決に向け、ホテル間の連携による分散での受入体制整備を行う部会を設置する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 誘致部会、受入部会を開催し、また展示会に関する部会を立ち上げるための準備会を開催した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・会費徴収が始まることをうけ、参加継続をしない団体が多数出てきている。

○外部環境の変化

- ・COVID-19の影響により、受入部会及び総会が開催できなかった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・会員メリットとしてのMICEネットワークの勉強会等を充実させる必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・会員のニーズを踏まえた勉強会等を企画し、県内外から著名な講師等を招聘し、会員数を増やすことを目指すとともに、全県的なMICE受け入れ体制の充実を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	沖縄らしいMICEコンテンツの開発			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
民間事業者と連携し、MICE開催の前後に実施する産業視察や、自然・文化・芸能など沖縄の魅力を生かした体験プログラムなど、沖縄オリジナルのMICE関連商品の開発を促進し、主催者ニーズに応じた質の高いプレ・ポストコンベンションのコンテンツの充実を図る。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課	【098-866-2077】				
		ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品、サービスの開発促進				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	6,830	3,516	84,499	0	一括交付金(ソフト)	OR元年度：MICEエリア開発に取り組む地域やMICEビジネスにチャレンジする企業等に対する支援を実施した。 OR2年度：COVID-19の影響により、当事業は実施できないと思われる。

様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品・サービスの開発促進				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	実施	100.0%	84,499	順調	MICEの受け入れ体制の構築に取り組む地域(3地域)や新たなMICEビジネスの事業化に取り組む企業(3企業)に対する支援を行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 県内市町村、観光協会や企業等の様々な取組が促進されるよう、沖縄MICEネットワークにおける各種勉強会、普及啓発活動等を通じて、MICEビジネスやMICE受入に取り組む先進事例等を紹介する。 受入体制を整備するため、受入の中心となる団体や自治体の取組について支援を継続する。 						<ul style="list-style-type: none"> 勉強会や沖縄MICEネットワークウェブサイトなどをおして、国内外や県内の先進事例紹介を行なった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・令和2年度においては、一括交付金の大幅削減などの影響もあり予算が減額になっている。

○外部環境の変化

・地方都市でMICE施設の建設が相次いでおり、国内外問わず都市間の誘致競争は年々激しさを増しており、競争に勝つためには新たなMICEコンテンツが求められる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・MICEによる経済波及効果を全県的に波及させるには、受入可能な地域を増やしていく必要がある。
- ・予算減により、実施事業をさらに精査する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・勉強会や沖縄MICEネットワークウェブサイトなどをおして、国内外や県内の先進事例紹介を行なう必要がある。
- ・受入体制の充実をめざし、引き続き受入の中心となる団体等へ支援を継続する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③ MICEに関わるプレイヤーの育成・確保
			施策の小項目名	OMICEプレイヤーの育成・高度化
主な取組	MICE専門人材の育成			
対応する主な課題	③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。 ④県内にはMICE専門の事業者が少なく、民間事業者もMICE専門の人材が不足していることから、MICE主催者の多様なニーズに対応できる幅広い専門人材の育成・確保が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
ホテル、PCO/PEO、DMC・旅行会社、交通・運輸業者、MICE施設事業者、その他多くの民間事業者がMICEプレイヤーとして活躍できるよう、各種セミナーや実践的な研修等により高度で専門的な人材の育成・確保に取り組む。		6回 講座・セミナー 開催				
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】		MICE専門人材育成の講座・セミナー開催			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	-	-	9,765	7,253	12,407	2,169	一括交付金(ソフト)	OR元年度： MICEに関連する必要スキルのうち、事業者のニーズが高い専門講座を実施することで、MICE案件の受入・誘致体制の強化を支援した。 OR2年度： MICE事業者向けセミナーのほか、MICEネットワーク会員を対象とした勉強会を開催する。

様式1(主な取組)

活動指標名	講座・セミナー開催				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	24回	21回	27回	6回	100.0%	12,407	順調	ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、MICE案件の獲得からオペレーション業務に至るまでの各事業者に求められるノウハウを習得するためのセミナーを計27回開催した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										MICE専門人材育成のための講座を計27回開催し、ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等延べ367名が参加した。アンケート回答者の91%が、大変満足・満足と回答しており、順調に取組を進めた。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング等を含めたより実践的な研修を実施する。 ・事業者のレベルに合わせた人材育成となるよう、複数コースのカリキュラムを設定する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングの形式は取らなかったが、事例を取り上げながらの説明や、ワークショップ形式での研修を行うなど、より実践的な研修となるよう工夫を行った。 ・前年度に引き続き、基礎講座と応用講座の両方を実施した。また、年度内においても、参加者の傾向を考慮しつつ、講座内容のレベル感に関して調整を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ MICEビジネスは産業の裾野が広く、M/I/C/Eの分野ごとにプレーヤーとなる事業者も異なることから、求められる人材も多種多様であり、効果的な人材育成を図るには、県だけの取組に限界がある。

○外部環境の変化

・ 沖縄MICEネットワークの設立により、民間事業者によるMICEビジネスへのチャレンジ意識が高まっている。
・ 事業者毎や地域毎に、人材レベルに差が生じている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 講師、講座のテーマ、紹介する事例等について、受講者が自社の活動に落とし込めるものを選定する。

4 取組の改善案 (Action)

・ 講師、講座のテーマ、紹介する事例等を選定する段階において、県内に優れた講師がいないか、先進的な事例がないかを考慮する。